

【用語説明】

アルファベット順

| | |
|---|---|
| ACP (Advance Care Planning) | 終末期において起こりうる病状の変化に備えて、医療従事者や患者と家族とともに、患者の医療上の希望、生命維持治療に対する意向、医療に関する代理意思決定者の選定などを行うプロセスのこと。 厚生労働省による愛称は「人生会議」 |
| ADL (Activities of Daily Living) | 日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作で、「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」動作のこと |
| AE (Adverse Event) | 薬剤が投与された患者（被験者）に生じたあらゆる好ましくない医療上のできごと |
| AST (Antimicrobial Stewardship Team) | 感染症の治療効果を高め、耐性菌の出現を抑えるために、抗菌薬の適正使用に向けて支援するチームのこと |
| BCP (Business Continuity Plan) | 大地震等の自然災害など、緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための方針、体制、手順等を示した計画のこと |
| BRCA遺伝子 | 損傷を受けたDNAを修復する機能を持ち、細胞ががん化することを抑える働きを持つ遺伝子のこと |
| CAPS (Child Abuse Prevention System) | 児童虐待に対応する院内の複数の部門が、各々の視点から、児童虐待かどうか、通告等をすべきかどうかなどについて判断し、病院として通告や警察への連絡などを行う組織のこと |
| CGA (Comprehensive Geriatric Assessment) | 高齢者、特に虚弱高齢者を身体面・精神・心理面・社会・環境面等から多面的に評価するためのツールのこと |
| CPC (Clinico-Pathological Conference) | 臨床病理検討会のこと |
| CRC (Clinical Research Coordinator) | 医療機関において、治験責任医師・治験分担医師の指示のもと、治験の進行をサポートする職業のこと |
| DMAT (Disaster Medical Assistance Team) | 大規模災害や事故などの現場で急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持ったチームのこと。専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調整員（医師、看護師以外の医療職及び事務職員）などで構成される。 |
| ER化 | 24時間・365日いつでもすべての救急患者がER専門の医師の診断および初期治療を受けられ、必要であればその疾患の専門科にコンサルトを受けられるシステムのこと。 |

| | |
|---|---|
| e-ラーニング | 情報技術を用いて行う学習や学びのこと |
| FFN-J (FFN-Japan) | 日本脆弱性骨折ネットワークの略 |
| ICN (Infection Control Nurse) | 感染管理看護師のこと |
| IMRT (Intensity Modulated Radiation Therapy) | 専用のコンピュータを使い、照射野の形状を変化させたビームを複数用いて、腫瘍の形に適した放射線治療を行う新しい照射方法のこと。腫瘍に放射線を集中し、周囲の正常組織への照射を減らすことができるため、副作用を増加させることなく、より強い放射線を腫瘍に照射することが可能になる。 |
| ISO15189 | 臨床検査室の品質と能力に関する特定要求事項に関する国際規格のこと |
| IVR (Interventional Radiology) | エックス線透視や超音波像、CTなど画像診断装置を使用しながら体内に細い管(カテーテルや針)を入れて病気を治す治療法のこと |
| NCD (National Clinical Database) | 一般社団法人の略。様々な疾患・治療・手術に関する日本全国の医療情報を収集しているデータベースを運用する団体のこと |
| NMCS (Neonatal Mutual Cooperative System) | 大阪府下で高次医療を行う施設が協力し、新生児領域の専門的医療を24時間365日体制で提供している新生児診療相互援助システムのこと |
| NST (Nutrition Support Team) | 栄養管理を症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施するために医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士などの多職種で形成されたチームのこと |
| OGCS (Obstetric&Gynecologic Cooperative System) | 産科救急・母体搬送を円滑に行うための連絡調整システムのこと。搬送の必要性が出た場合、依頼施設はコーディネータに連絡し、このコーディネータが受入病院を探す仕組みとなっている。 |
| PBPM (Protocol Based Pharmacotherapy Management) | 医師と合意したプロトコールに従って薬剤師が主体的に実施する業務を行うこと |
| PDCA サイクル (Plan Do Check Action) | Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善させること |
| PSC (Primary Stroke Center : 一次脳卒中センター) | 脳梗塞に対する血栓溶解療法 (rt-PA静注療法) が24時間365日対応可能な施設のこと |
| QOL (Quality Of Life) | 「生活の質」や「人生の質」のこと |

| | |
|---|--|
| QMS (Quality Management System) | 組織が顧客に対して提供する製品やサービスの品質を継続的に改善していく仕組みのこと |
| SCU (Stroke Care Unit: 脳卒中ケアユニット) | 脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）急性期の患者を、専門医療スタッフがチームを組んで計画的に診療を行う治療室のこと |
| SPD (Supply Processing and Distribution) | 病院が使用する医薬品や医療消耗品の供給・在庫・加工などの物流を一元管理する方法のこと |
| TQM (Total Quality Management) | 全員・全体 (Total) で、医療・サービスの質 (Quality) を、継続的に向上 (Management) させることを目指す取り組みのこと |
| t-PA (tissue-Plasminogen Activator) | 血管を詰まらせている血栓（血の固まり）を溶かし、血流を再開することで脳の働きを取り戻すようにする血栓溶解療法のこと |

あいうえお順

| | |
|------------------|--|
| アクシデント | 医療事故のこと。医療に関わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故で、医療従事者の過誤、過失の有無を問わない。死亡、生命の危険、病状の悪化等の身体的被害及び苦痛、不安等の精神的被害が生じた場合、患者が廊下で転倒するなど、医療行為とは直接関係しない場合、患者だけでなく、注射針の誤刺のように、医療従事者に被害が生じた場合を含む。 |
| アドヒアランス | 患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること |
| 遺伝カウンセラー | 遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体勢等を含む様々な情報提供を行い、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する保健医療・専門職のこと |
| 医療連携登録医 | 患者の病状にあった継続性のある医療を切れ目なく行うため、医療連携している地域の医療機関の医師（かかりつけ医）のこと |
| インシデント | 医療事故に至る前に気付いたこと。患者に障害の発生しなかった事例のみならず障害の発生した事例、過失の見られるものや不可抗力、また、結果だけでなくプロセスの問題も含まれる。 |
| 院内助産 | 病院や診療所において、保健師助産師看護師法で定められている業務範囲に則って、妊婦健康診査、分娩介助並びに保健指導（健康相談・教育）を助産師が主体的に行う看護・助産提供体制としての「助産外来」や「院内助産」を持ち、助産師を活用する仕組みのこと |
| インフォームド コンセント | 治療や臨床試験・治験の内容についてよく説明を受け十分理解した上で、対象者が自らの自由意志に基づいて医療従事者と方針において合意すること |
| エビデンス | ある治療法がある病気・怪我・症状に対して、効果があることを示す根拠のこと |
| オンデマンド配信 | あらかじめ作成した動画ファイルをアップロードし、視聴者がいつでも好きな時に見ることができる動画配信方式のこと |
| 介入研究 | 疾病と因果関係があると考えられる要因に対して、研究を意図し積極的に介入をして、新しい予防法、診断法や治療等を試み、従来の予防法や治療等を行うグループと比較して、その有効性を検証する研究のこと |
| 開放型病床 | 診療所から紹介された入院患者を、病院の医師と診療所の医師と一緒に診察を行うことのできる病床のこと |
| ガラスバッチ | 放射線を取り扱う施設で働く人向けの個人用外部被ばく線量計のこと |

| | |
|-------------|---|
| カンファレンス | 医師、看護師、介護士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師及び医療ソーシャルワーカーなどの専門職が、分野の枠組みなどを乗り越え、チームで一人の患者に対してベストな支援方法を話し合い、検討すること |
| 緩和ケア | 生命を脅かす疾患による問題に直面する患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的、心理的、社会的な問題、さらにスピリチュアル（宗教的、哲学的なところや精神、霊魂、魂）な問題を早期に発見し、的確な評価と処置を行うことによって、苦痛を予防したり和らげたりすることで、QOL（人生の質、生活の質）を改善する行為のこと |
| 救急ワークステーション | 医療機関と消防機関が連携し、救急要請に対して救急隊員とともに、必要に応じ医師が同乗して現場に出場する方法により、病院内での救急隊員の知識、技術の向上を目的とした教育の拠点のこと |
| 急性期医療 | 急性疾患または重症患者の治療を 24 時間体制で行う病院のこと |
| 救命救急センター | 救急指定病院のうち急性心筋梗塞、脳卒中、心肺停止、多発外傷、重傷頭部外傷など、複数診療科領域の命に係わる重症な患者に対し高度な医療技術を提供する救急医療機関のこと |
| クリニカルパス | 医療の内容を評価・改善し、より質の高い医療を患者さんに提供することを目的として、入院から退院までの治療・検査のスケジュールを時間軸に沿って記述した計画表 |
| ケアマネージャー | 要介護者や要支援者の人の相談や心身の状況に応じるとともに、サービス（訪問介護、デイサービスなど）を受けられるようにケアプラン（介護サービス等の提供についての計画）の作成や市町村・サービス事業者・施設等との連絡調整を行う者のこと |
| 経皮的針生検 | 超音波・X線透視やCTを用いながら、針をからだの表面の外から刺し込み、病変から細胞や小さい組織を採取する方法のこと |
| ゲノム | 遺伝情報の全体・総体のこと |
| 健康寿命 | 介護や人の助けを借りずに起床、衣類の着脱、食事、入浴など普段の生活の動作が1人ででき、健康的な日常を送ることができる期間のこと |
| 厚生労働省充実段階評価 | 平成 11 年度より、厚生労働省によって、施設ごとの充実段階評価が開始された。前年の一年間の実績を各施設からの報告のもと点数化し、充実段階 A・B・C として 3 段階に区分し、評価するもの（平成 30 年度からは、評価内容が変更され、S・A・B・C の 4 段階となる） |
| 後発医薬品 | 新薬の独占的販売期間（有効性、安全性を検証する再審査期間及び特許期間）が終了した後に発売され、新薬と同じ有効成分で効能、効果、用法、用量が同一であり、新薬に比べて低価格な医薬品のこと。ジェネリックという。 |

| | |
|-------------------|---|
| 後方支援病院 | 急性期治療を終えた患者が転院し、回復期治療などを提供する病院のこと |
| コンサルテーション | 困ったことや課題を抱えたコンサルティ（相談者）が、問題解決のために専門科に相談すること |
| サーベイヤー | 病院機能評価の訪問審査を担当する調査者のこと |
| 災害拠点病院 | 大規模災害における医療確保を目的として、重症、重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院のこと。厚生労働省の基準で、原則として二次医療圏ごとに1カ所指定される。救命医療を行うための高度診療機能、被災地からの重症傷病者の受け入れ機能、医療救護班の派遣機能などが求められる。 |
| 堺市こども急病診療センター | 堺市救急医療事業団が運営する夜間・休日の急な子どもの内科系疾患に対して外来診療を行う診療施設のこと |
| 三師会 | 医師会、歯科医師会、薬剤師会のこと |
| 三次救急医療機関 | 二次救急医療まででは対応できない重篤な疾患や多発外傷に対応する医療機関のこと |
| シームレス | 医療機関や自治体などの垣根を超えた継ぎ目のない連携を行いサービスの質を向上させること |
| 周産期医療 | 妊娠満22週から出生児満7日未満までを周産期といい、この時期は母子とも異常が発生しやすく、突発的な緊急事態に備えて、産科、小児科双方から一貫した総合的な医療体制が必要であることから、特に周産期医療と表現される。 |
| 新興感染症 | 最近になって新しく出現した感染症の総称のこと |
| スクリーニング | 無症状の者を対象に、疾患の疑いのある者を発見することを目的に行う検査のこと |
| ストーマ | 腸や尿管をお腹の外に出してつくった人工肛門・人工膀胱のこと |
| 精神科リエゾンチーム | 一般病棟において、身体疾患患者の精神症状（不穏・不眠・せん妄・抑うつ・希死念慮など）の悪化およびそのリスクが高いと予測される場合や患者とその家族に対するメンタルサポートが必要な場合に、「こころのケア」をはじめとする精神科医療サービスを多職種で提供するチームのこと |
| セカンドオピニオン | 患者がより納得のいく治療を受けるため、診断結果や治療方針、方法等について、主治医以外の医師から意見を聞くこと |
| 総合及び地域周産期母子医療センター | 周産期母子医療センターとは、総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センターの2つの機能のことをいい、総合周産期母子医療センターとは、母体・胎児集中治療管理室（M-FICU）を含む産科病棟及び新生児集中治療管理室（NICU）を備えた医療機関。常時、母体・新生児搬送受入体制を有し、母体の救命救急への対応、ハイリスク妊娠に対する医療、高度な新生児医療等を担っており、地域周産期母子医療センターとは、産科・小 |

| | |
|------------------|---|
| | <p>児科（新生児）を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を常時担う医療機関のこと</p> |
| 第一種、第二種感染症指定医療機関 | <p>「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において定められた、一類感染症又は二類感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院のこと</p> |
| 退院時サマリー | <p>入院患者さんの病歴や、入院時の身体所見、検査所見、入院中に受けた医療内容についてまとめた記録（要約書）のこと</p> |
| タイムスタディ | <p>業務行為において、どれだけの時間が費やされているのかを定量的に調査する方法のこと</p> |
| タスクシフト | <p>医師が担う業務を他職種へ業務移管・共同化し、医師への業務集中を軽減しようという働きかけのこと</p> |
| 地域医療支援病院 | <p>地域に必要な医療を確保し、地域の医療機関の連携等を図る観点から、かかりつけ医等を支援する医療機関のこと。紹介患者に対する診療機能や実績等により都道府県が承認する。</p> |
| 地域完結型医療 | <p>地域の中で、それぞれの病院や診療所、クリニック等が、その特長を活かしながら役割を分担し、地域の医療機関全体で1つの病院のような機能を持ち、切れ目の無い医療を提供していこうというもの</p> |
| 地域がん診療連携拠点病院 | <p>専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて都道府県知事が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め、指定した病院のこと</p> |
| 地域包括ケア | <p>団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供されること</p> |
| 地域連携 ICT | <p>市民に適切な医療、訪問看護サービス、介護サービスを提供するため、患者の同意を得た上で、病院、診療所（医科・歯科）、薬局、訪問看護事業者、訪問介護事業者等の機関間において、当該患者の医療情報を電子的に共有・閲覧できる仕組みのこと</p> |
| 地域連携パス | <p>地域で医療・介護に関わる人々がそれぞれの役割分担を行い、情報共有をすることにより、今後の診療の目標や注意点を明確にし、チームで患者さんを支えていくための仕組みのこと</p> |
| 治験 | <p>治療試験の略。新薬の効果を確かめたり、既存の薬剤の効果と副作用の追跡調査をしたりするため、患者や健康な人に服用してもらい試す臨床試験のうち、特に製薬会社で開発中の医薬品や医療機器を患者や健康な人に使用してもらい、データを収集して有効性、副作用や安全性を確認する試験をいい、治験は国の基準を満たした医療機関で行われる。</p> |

| | |
|------------|---|
| チーム医療 | 医療技術の進歩と高度医療の普及、患者中心の医療に対するニーズの高まりなどを背景に、医師、薬剤師、看護師などの各医療職の協力によるチームで行う医療のこと |
| 低侵襲 | からだへの負担（侵襲）が小さい医療のこと。“切らない医療”とも言われる。できるだけ患者さんのからだを傷つけずに、負担を小さくしながら行う検査や治療の総称。 |
| デジタルサイネージ | 表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクターなどによって映像や文字を表示する情報・広告媒体のこと |
| ドクターカー | 種々の薬剤や器具を装備し、医師及び看護師が同乗して患者を搬送できる救急車のこと。病院到着までに医師による適切な処置及び医療を行うことができ、救命率の向上が期待できる。 |
| 特定健診 | 日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの公的医療保険加入者を対象に、保健指導の対象となるかどうかを判断しメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者及び予備軍を減少させることを目的として実施される健康診査のこと |
| トリアージ | 大事故・災害などで同時に多数の患者が発生した際に、手当ての緊急度に従って優先順をつけること |
| 二次救急医療 | 入院や手術を要する症例に対する医療であり、いくつかの病院が当番日を決めて救急医療を行う病院群輪番制や、共同利用型病院方式がある。 |
| ハートコール | 急性心筋梗塞、狭心症、急性心不全等の救急疾患に対応するため、救急車からの電話に担当医が直接対応するシステムのこと |
| バックトランスファー | 2次・3次で分娩など急性期が終わった後、一次産科施設に再入院して回復期を過ごすこと |
| パンデミック | 感染症や伝染病が、全世界的に急激に広まる状態のこと |
| ピアレビュー | 特定機能病院の職員（医療安全管理責任者等）が、別の特定機能病院と相互に、実地調査を行い、必要に応じて技術的助言を行うこと。 |
| 病院機能評価 | 日本医療機能評価機構が病院の運営管理および提供される診療・ケアについて、中立的・科学的な見地から評価を行い、評価を通じて質改善活動を支援する取り組みのこと |
| 病院前医療 | 急病人などを病院に運び込む前に行う応急手当てのこと。 主として、救急車内で行うものをいう。 |
| 病院群輪番病院 | 各市や郡単位の地域ごとに、休日や夜間に対応できる病院（一部有床診療所）が日を決めて順番に輪番制で対応している病院のこと |

| | |
|-------------|--|
| 病病・病診連携 | それぞれの医療機関の機能に応じて役割を分担し（機能分化）、患者さんの状態に応じて医療機関同士が協力（連携）すること |
| 不顕性感染 | 細菌やウイルスなど病原体の感染を受けたにもかかわらず、感染症状を発症していない状態のこと |
| プライマリケア | 患者の心身を総合的に診て、初期段階での健康状態の把握や一時的な救急処置、日常的にみられる病気や軽度の外傷の治療、訪問診療などを行い、特殊な症例については、専門医に紹介する役割を担うこと |
| フレイル | 健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと |
| ベンチマークシステム | 全国の医療機関の最新購入価格（医療材料・医薬品・検査試薬）をインターネット上で照会・比較することができるシステムのこと |
| ホスピス | 死期の近い（末期がんなどの）患者に安らぎを与え、看護する施設のこと |
| ボトムアップ | 現場の声を積極的に拾い上げ、意思決定に反映する手法のこと |
| ポリファーマシー | 「Poly（多くの）」＋「Pharmacy（調剤）」の造語で、単に薬剤数が多いことではなく、薬剤が多いことにより、薬物有害事象につながる状態や飲み間違い、残薬の発生につながる問題のことで、不要な処方や過量重複投与など、あらゆる不適正処方も含む。 |
| 結ぶ事業 | 「市民へのがん情報普及の拠点」として、がん情報ギフト寄贈館ががん情報の提供とがん相談支援センターを周知すること、さらにその役割を図書館が医療機関等と連携し、拡充・発展させていくことが目的としている事業のこと |
| メディカルコントロール | 傷病者を救急現場から医療機関へ搬送する間に救急救命士が実施する医行為に対して、医師の指示または指導・助言および検証することにより、それらの医行為の質を保証すること |
| 薬剤師サマリー | 入院中に使用した薬剤に関する情報のこと |
| ラウンド | 病棟や病室内の見回りのこと |
| リエゾン | 一般病棟におけるせん妄や抑うつといった精神科医療のニーズの高まりを踏まえ、一般病棟に入院する患者の精神状態を把握し、精神科専門医療が必要な患者を早期に発見し、可能な限り早期に精神科専門医療を提供すること |
| リスク評価 | 食品に含まれる可能性のある 0157 などの病原菌、プリオン、添加物や農薬などの危害要因が人の健康に与える影響について評価を行うこと |
| リスクマネジメント | リスク（危険の生じる可能性）を組織的に管理し、損失などの回避または低減をはかるプロセスのこと |
| リンクナース | 感染制御チームや褥瘡対策チームなどの専門チームと病棟看護師をつなぐ役割をもつ看護師のこと |

| | |
|----------------------|--|
| 臨床倫理コンサル テーションチーム | 医療従事者が直面する臨床倫理上の問題に対し、迅速に検討し、助言や推奨を行う多職種で構成されたチームのこと |
| レジメン | 食事療法、運動療法、医療行為などの計画、または行動指針のこと |